

「土堂地区の空き家問題の解決方法を話し合おう」（討論）

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力・主体性・積極性・自分への自信

1 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領第5学年及び第6学年の「A話すこと・聞くこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

- (1) ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報に関係付けること。
 エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。
 オ 互いの立場や意図をはっきりとさせながら、計画的に話し合うこと。

(1) 単元観

本単元は、論題に対して自分の主張と理由を明確にもち、賛成や反対などの二つの立場に分かれて話し合う活動を通して、互いの主張と理由を明確にして計画的に討論する力を身に付けることをねらいとしている。

本教材は、よりよい討論の仕方を身に付けるために、討論の基本的な進め方やより説得力のある理由を選ぶための視点が具体的に提示されているとともに、相手からの質問を予想して準備したり役割を決めて討論を行ったりのよりよい討論の進め方が示されている。これらのことから、本教材は互いの主張と理由を明確にして計画的に討論する力を身に付けるために適した教材である。

本単元では、論点や進行に沿って討論を進め、全員が納得する結論を得るために、相手の意図も踏まえて人の考えを正しく理解し、相手が納得できるような理由を見つけて説得する力を身に付けさせることによって、総合的な学習の時間や他教科においても活用を図るなどもねらいとしている。

(2) 児童観

学力調査等の実態

今年度の「基礎・基本」定着状況調査（聞き取りのみ）の結果、「要点の聞き取り」の平均通過率は95.5%、「要点のメモ」の平均通過率は93.3%と高かった。
 これらのことから、要点を短い言葉でメモしながら正確に話を聞く力が定着している。

課題発見・解決学習の実態

独自の児童質問紙を実施した結果、話し合いに対する興味や関心があると回答した児童は、全体の約70%であった。
 また、友達と話し合うときに相手の主張や理由に着目して聞いていると回答した児童は全体の約90%であった。また、児童の約80%が話し合いをうまく進めることができなかったという経験をしており、その原因としては「話し合ってもなかなか結果が出ないこと」や「話し合い中の規律」などがあげられた。討論に似た話し合いは経験しているが、よりよい討論に対する問題意識を自覚化していないことや、課題を解決したいという段階までは至っていないようである。

(3) 指導観

本単元では、意見と理由を区別して話を聞いたり、共通点に着目して話し合ったりすることに加え、相手の主張の理由にも気を付けて聞くよう指導する。そして、主張と理由を捉えて質問や反論をしながら討論する活動を取り入れる。このことで、互いの主張と理由を明確にして計画的に討論する力をさらに伸ばしたい。

導入では、総合的な学習の時間で「どうしたら土堂地区の空き家問題が解決できるか」というテーマで話し合った活動を想起させる。このことでよりよい討論の仕方に対する関心を高め、児童自らの課題発見へとつなげる。次に、教科書の教材を用いて、よりよい討論をするために意見文を書いたりグループで討論の準備をしたりし、討論の練習を行う。最後に、導入で扱ったテーマを再度取り上げ、実際に討論することで身に付いた力を確かめるとともに、国語科で討論した内容をその後の総合的な学習の時間でゲストティーチャーに質問する場を設定することで、総合的な学習の時間における学習課題へつなげる。

(4) 単元でめざす児童の姿

- 論題に対する自分の立場を明確に主張しながら討論をすることに関心をもち、意欲的に取り組もうとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- 互いの主張やその理由を明確にして、考えの違いを尊重しながら討論する。
(話すこと・聞くこと)
- 相手からの意見や質問を想定して説得力のある理由を収集・選別したり、役割に応じて進行や時間、発言内容などを意識したりして計画的に話し合おうとする。
(総合的な学習の時間、他教科・領域等)

2 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	○よりよい討論の仕方に関心を持ち、課題意識をもって取り組もうとしている。	○意見文の文章構成に基づいて、事実と意見を区別しながら意見文を書いている。 ○自分の考えと関係付けながら、異なる意見や対立する意見を聞き、自分の考えをまとめている。 ○討論会で互いの考えの違いを大事にしながら話し合っている。	○尊敬語や謙譲語など、丁寧な言い方を理解し、相手や場面に応じて使っている。

3 本単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

本単元の導入において、総合的な学習の時間での土堂地区の空き家問題解決に向けた話し合いと関連させることで、よりよい討論の仕方に関する学習課題を発見させる。その後、教科書で討論の仕方に関する情報を収集することで課題を解決させ、単元の終末では空き家問題解決の方法を決めるというテーマで討論を行わせ、単元で身に付いた力を確かめる活動を設定する。これらのことを通して、目的意識をもって情報収集し、協同的に整理・分析するなどの課題発見・解決力（スキル）を高め、立場の異なる他者の考えを聞いて自分の考えを深めたり広げたりして主体性・積極性（意欲・態度）や自分への自信（価値観・倫理観）を育成することができると思う。

4 指導計画（全9時間）

次	学習活動	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	<p>課題の設定 情報の収集1</p> <p>総合的な学習の時間で考えた土堂地区の空き家問題を解決する方法を想起し、学習課題を設定するとともに、討論の進め方や準備等について調べる。(1)</p>	<p>よりよい討論の仕方に関心を持ち、課題意識をもって取り組もうとしている。 【関・意・態】(ノート, 行動観察)</p>	<p>自ら課題を発見している。 【課題発見・解決力】(ノート, 行動観察)</p>
	<p>【本質的な問い】よりよい討論をするには、どうすればいいのだろう。 【学習課題】よりよい討論の仕方を学習して、空き家問題の解決方法について討論しよう。</p>		
二	<p>情報の収集2</p> <p>教科書で討論に向けての意見文の書き方を知り、教科書のテーマ事例に基づいて意見文を書く。(2)</p> <p>グループに分かれて意見文を読み合い、グループとしての理由をまとめる。相手からの質問を予想し回答を書いたり、相手の主張の理由を予想したりする。(2)</p> <p>教科書のテーマ事例を使って討論を練習する。(1)</p> <p>情報の収集3</p> <p>土堂地区の空き家問題を解決するための討論会に向けて意見文を書く。(1)</p>	<p>意見文の文章構成に基づいて、事実と意見を区別しながら意見文を書いている。 【話す・聞く】(ノート)</p> <p>より説得力のある理由を選び、相手グループからの質問を予想してその答えを書いている。 【話す・聞く】(ノート)</p> <p>自分の考えと関係付けながら、異なる意見や対立する意見を聞き、自分の考えをまとめている。 【話す・聞く】(ノート)</p> <p>事実と意見を区別しながら、自分の立場と理由が明確になるよう説得力を考えて意見文を書いている。 【話す・聞く】(ノート)</p> <p>尊敬語や謙譲語など、丁寧な言い方を理解し、相手や場面に応じて使っている。 【言語】(ノート)</p>	<p>課題意識をもって教科書から情報を収集している。 【課題発見・解決力】(ノート)</p> <p>課題意識をもって既習事項を活用している。 【課題発見・解決力】(ノート)</p>

三	<p style="text-align: center;">整理・分析</p> <p>同じ立場のグループに分かれて意見文を読み合い、グループの主張と理由を整理し、討論の準備をする。(1)</p>	<p>より説得力のある理由を選び、相手グループからの質問を予想してその答えを書いている。【話す・聞く】(ワークシート)</p>	<p>友達と積極的に話し合いながら、結果をノートに記録している。 【主体性・積極性】(ノート)</p>
四	<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現 ふりかえり</p> <p>土堂地区の空き家問題について討論会を開き、単元で身に付いた力を振り返る。(1)</p>	<p>討論会で互いの考えの違いを大事にしながら話し合っている。【話す・聞く】(ノート)</p>	<p>討論の学習における自分の成長を自覚し、自信を高めている。【自分への自信】(ノート)</p>

パフォーマンス課題

総合的な学習の時間に土堂地区の空き家問題の解決に向けて学習しています。市役所の人からクラスで解決方法を1つ提案してほしいとお願いされました。クラスでは、たくさんの意見を出し合った結果、2つの意見が残りました。あなたは、どちらの意見に賛成ですか。自分の立場をはっきりさせて、相手が納得できるように理由を付けて意見を述べましょう。

5 本時の展開（1／9 時間）

(1) 本時の目標

よりよい討論の進め方やそれまでの準備の仕方を調べる活動を通して、よりよい討論の進め方や準備の仕方などに関心をもつ。【関・意・態】

(2) 観点別評価規準

よりよい討論の仕方に興味をもち、課題意識をもって取り組もうとしている。【関・意・態】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆）	評価規準（評価方法） 教科の指導事項（○） 資質・能力（★）
<p>1 総合的な学習の時間の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p> <p>3 教科書で討論の進め方や準備の仕方を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土堂地区の空き家問題の解決方法を想起させる。 ・ 今まで行った討論の仕方や準備の仕方を考えさせ、よりよい討論の仕方について疑問をもたせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よりよい討論の仕方を教科書で調べよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 討論の進め方と討論までの準備の2つの視点をもたせる。 ・ ルーブリック作りを支援する。 <p>(例) A…2つの視点のすべてを書いている。 B…2つの視点を書いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 討論の進め方とそれまでの準備の仕方について教科書P76～P79の範囲で調べ、分かったことをノートに書かせる。 ◆ 教科書の記述内容を示して音読させ、該当する箇所に線を引かせる。 	
<p>4 全体で発表する。</p> <p>5 まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 討論の進め方（主張→作戦タイム→質疑応答→作戦タイム→主張→判定）を確認する。 ・ それまでの準備（理由をたくさん書く、より説得力のある理由を選ぶ、意見文を書く、グループでより説得力のある理由を考え主張を整理する、相手からの質問を予想して答えを準備する）などを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい討論の仕方について、2つの視点で確認し、教科書の例を基に論題を決める。 	
<p>6 振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に取り組みたいことをノートに書かせた後、ルーブリックを基に振り返りを書かせる。 	<p>○ よりよい討論の仕方に興味をもち、課題意識をもって取り組もうとしている。【関・意・態】（ノート、行動観察）</p> <p>★ 単元の学習に向けて自ら課題を発見している。 【課題発見・解決力】（ノート）</p>

6 本時の展開 (2・3/9 時間)

(1) 本時の目標

討論に向けた意見文の書き方に基づいて、論題に対する自分の立場と理由を明確にして意見文を書く。

【話す・聞く】

(2) 観点別評価規準

意見文の文章構成に基づき、事実と意見を区別しながら意見文を書いている。【話す・聞く】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を設定する。 3 ルーブリックを決める。 4 個人で理由を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論題を決め、討論までの準備に何が合ったかを想起させ、学習課題を設定させる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の立場で理由メモを書き、よりよい討論に向けて説得力のある意見文を書こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時で学習する内容に触れ、ルーブリック作りを支援する。 (例) A…Bに加え、数値や資料、新しい見方の提示を用いている。 B…調べたことや自分の経験をもとにして理由をあげている。 ・ 自分の立場を決めて、その理由を付箋紙になるべくたくさん書かせる。(3～5つ程度) ・ 書いた理由の中からより説得力のある理由を3つ選ばせる。 	
5 教科書で意見文の書き方を調べ、意見文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書で意見文の構成と書き方(事実と意見の区別)を調べて、分かったことを発表させる。 ◆ 教科書の該当する箇所に線を引かせる。 ・ 「文章構成」「事実と意見の区別」の2つの視点で書くことで、よりよい意見文になることを押さえる。 ・ 付箋紙に書いた理由の中から、より説得力があると思う理由を選ばせ、意見文を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 教科書の中から必要な情報を収集している。 【課題発見・解決力】(ノート) ○ 意見文の文章構成に基づき、事実と意見を区別しながら意見文を書いている。【書く】(ノート)
6 意見文を推敲する。 7 まとめる。 8 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで「文章構成」「事実と意見の区別」の2つの視点で読み合わせ、修正点を交流させて、意見文を修正させる。 ・ よりよい討論に向けた、説得力のある意見文の書き方は、「文章構成」「事実と理由の区別」「より説得力のある理由を選ぶ」の3つの視点だったことを押さえる。 ・ ルーブリックを基に自己評価させ、次に取り組みたいことをノートに書かせる。 	

7 本時の展開（4・5／9 時間）

(1) 本時の目標

教科書の論題を基に、グループでより説得力のある理由を選び、相手グループからの質問を予想してその答えを考える。【話す・聞く】

(2) 観点別評価規準

より説得力のある理由を選び、相手グループからの質問を予想してその答えを書いている。【話す・聞く】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆）	評価規準（評価方法） 教科の指導事項（○） 資質・能力（★）
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 個人で意見文を書いた後の流れを想起させ、学習課題を設定させる。 	
2 学習課題を設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">グループでよりよい討論に向けた作戦を立てよう。</div>	
3 教科書を見て見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P79 でグループ学習の内容を調べて、分かったことを発表させ、主張メモや予想カードの書き方を確認する。 ◆ 教科書の該当する箇所に線を引かせる。 主張メモを書くことで、より説得力のある理由をグループで吟味し、質問を予想して討論に備えるできることを押さえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 教科書の中から必要な情報を収集している。 【課題発見・解決力】（ノート）
4 ルーブリックを決める。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容を参照させ、ルーブリック作りを支援する。 (例) A…Bについてのすべてを書いている。 B…予想される質問とその答え、相手への質問を書いている。 	
5 グループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> グループで意見文を交流し合い、より説得力のある理由を選んで主張を整理させる。 ◆ 司会者を中心に、より説得力のある理由を決めさせる。 グループの理由に対する質問を予想し、その答えを話し合っって主張メモを書かせる。 相手の主張の理由を予想し、それに対する質問を考え、予想カードを書かせる。 ◆ グループで協力して書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ より説得力のある理由を選び、相手グループからの質問を予想してその答えを書いている。【話す・聞く】（ノート）
6 まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 主張メモや予想カードを書いた感想を発表させ、それらが討論の作戦を立てるのに使えることをまとめる。 	
7 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ルーブリックを基に振り返りを書かせる。 	

8 本時の展開 (6/9 時間)

(1) 本時の目標

自分の考えと関係付けながら異なる意見や対立する意見を聞き、自分の考えをまとめることができる。

【話す・聞く】

(2) 観点別評価規準

自分の考えと関係付けながら、異なる意見や対立する意見を聞き、自分の考えをまとめている。

【話す・聞く】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時でのグループの話合いを想起させ、今日の学習課題を設定させる。 	
2 学習課題を設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">教科書の討論の仕方を参考にして、よりよい討論の仕方を学ぼう。</div>	
3 教科書の例に沿って模擬討論をする。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例を読みながら模擬討論をさせ、より説得力のある話し方(数値を示す, 新聞記事を引用する, 新しい見方を示す)や、最後の主張では納得した点も含めることなど、よりよい討論のポイントをつかませる。 	
4 討論のルーブリックを作る。 5 実際に自分たちで決めた論題で討論をする。	<ul style="list-style-type: none"> ルーブリック作りを支援する。 A…Bに加えて、相手の説得力のある発言から学んでいる。 B…人の考えを聞いて、自分の考えを改めたり広げたりする。など 司会1と記録係4, 審判係3を決め、所定の位置に着かせる。 討論後は、ルーブリックを意識させながら、最終の自分の立場・理由をノートに具体的に書かせる。 ◆ 自分の立場を確認し、どの理由をあげるか決めさせる。 	<p>○ 自分の考えと関係付けながら、異なる意見や対立する意見を聞き、自分の考えをまとめている。 【話す・聞く】(ノート, 行動観察)</p>
6 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ルーブリックを基に振り返りを書かせる。 	
7 次回の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 自主的に準備できそうなことは事前にしておくとよいことを伝える。 	<p>★ 人の考えも取り入れて自分の考えを深めている。 【主体性・積極性】(ノート)</p>

9 本時の展開 (7/9 時間)

(1) 本時の目標

討論に向けた意見文の書き方に基づいて、論題に対する自分の立場と理由を明確にして意見文を書く。

【話す・聞く】

(2) 観点別評価規準

事実と意見を区別しながら、自分の立場と理由が明確になるよう説得力を考えて意見文を書いている。

【話す・聞く】

尊敬語や謙譲語など、丁寧な言い方を理解し、相手や場面に応じて使っている。【言語】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 論題を確認し、討論までの準備に何があったかを想起させ、学習課題を設定させる。 	
2 学習課題を設定する。	<p>より説得力のある理由を考えて、よりよい討論に向けて説得力のある意見文を書こう。</p>	
3 ルーブリックを決める。	<ul style="list-style-type: none"> 数値や資料の提示、新しい見方を示すなど既習の説得力のポイントを想起させ、ルーブリック作りを支援する。 (例) A…Bに加え、数値や資料、新しい見方の提示を用いている。 B…調べたことや自分の経験をもとにして理由をあげている。 	
4 個人で理由を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場を決めて、その理由を付箋紙になるべくたくさん書かせる。(3～5つ程度) 書いた理由の中からより説得力のある理由を3つ選ばせる。 	
5 意見文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項である意見文の構成と書き方(事実と意見の区別)を想起させて書かせる。 ◆ 教科書の該当する箇所を示しながら書かせる。 「文章構成」「事実と意見の区別」の2つの視点で書くことで、よりよい意見文になることを想起させる。 付箋紙に書いた理由の中から、より説得力があると思う理由を選ばせ、意見文を書かせる。 	<p>★ 課題意識をもって既習事項を活用している。 【課題発見・解決力】(ノート)</p> <p>○ 事実と意見を区別しながら、自分の立場と理由が明確になるよう説得力を考えて意見文を書いている。【話す・聞く】(ノート)</p>
6 意見文を推敲する。	<ul style="list-style-type: none"> ペアで「文章構成」「事実と意見の区別」の2つの視点で読み合わせ、修正点を交流させて、意見文を修正させる。 	<p>○ 尊敬語や謙譲語など、丁寧な言い方を理解し、相手や場面に応じて使っている。【言語】(ノート)</p>
7 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ルーブリックを基に自己評価させ、次に取り組みたいことをノートに書かせる。 	
8 次回の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 自主的に準備できそうなことは事前しておくことよいことを伝える。 	

10 本時の展開 (8/9 時間)

(1) 本時の目標

総合の空き家問題の解決に向けた論題を基に、グループでより説得力のある理由を選び、相手グループからの質問を予想してその答えを考える。【話す・聞く】

(2) 観点別評価規準

より説得力のある理由を選び、相手グループからの質問を予想してその答えを書いている。【話す・聞く】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 個人で意見文を書いた後の流れを想起させ、学習課題を設定させる。 	
2 学習課題を設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">グループでよりよい討論に向けた作戦を立てよう。</div>	
3 既習事項を基に見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 既習であるグループ学習の流れを確認する。 (①相手からの質問を予想 ②その回答を準備 ③相手の主張の理由を予想して質問を準備) 	
4 ルーブリックを決める。	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習の流れを基に、ルーブリック作りを支援する。 (例) A…Bについてのすべてを書いている。 B…予想される質問とその答え、相手への質問を書いている。 	
5 グループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> グループで意見文を交流し合い、より説得力のある理由を選んで主張を整理させる。 ◆ 司会者を中心に、より説得力のある理由を決めさせる。 相手グループからの質問を予想させ、その答えを話し合っ てノートに書かせる。 相手の主張の理由を予想させ、それに対する質問を考え、 ノートに書かせる。 ◆ 友達の意見をノートに書き、作戦をまとめさせる。 	<p>★ 友達と積極的に話し合いながら、結果をノートに記録している。 【主体性・積極性】(ノート)</p> <p>○ より説得力のある理由を選び、相手グループからの質問を予想してその答えを書いている。【話す・聞く】(ノート)</p>
6 振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ルーブリックを基に振り返りを書かせる。 	
7 次回の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 自主的に準備できそうなことは事前にしておくとよいことを伝える。 	

11 本時の展開 (9/9 時間)

(1) 本時の目標

討論会で互いの考えの違いを大事にしながら話し合することができる。【話す・聞く】

(2) 観点別評価規準

討論会で互いの考えの違いを大事にしながら話し合っている。【話す・聞く】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○) 資質・能力 (★)
1 前時までの学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 討論の進め方と今日の役割を確認させる。 	
2 学習課題を設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 空き家問題を解決する方法を、1つに決めるためにより討論をしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ループリック作りを支援する。 (例)A…Bに加えて、相手の説得力のある発言から学んでいる。 B…人の考えを聞いて、自分の考えを改めたり広げたりする。	
3 討論をする。	<ul style="list-style-type: none"> 司会と審判グループは所定の位置に着かせ、討論を開始させる。 討論の進め方 (主張→作戦タイム→質疑応答→作戦タイム→主張→判定) 発言しない場合も、より説得力のある理由を考え、メモを取りながら聞かせる。 最終的な自分の考えを友達と考えと関連付けてノートに書かせ、発表させる。 	○ 討論会で互いの考えの違いを大事にしながら話し合っている。【話す・聞く】(ノート, 行動観察)
4 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> より説得力のあった理由や発言の仕方など討論のよかった点をまとめ、ループリックを基に振り返りを書かせる。 	
5 単元の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> コンピテンシー表を基に単元で身に付いた力を振り返る。 	★ 討論の学習における自分の成長を自覚し、自信を高めている。 【自分への自信】(ノート)
6 領域での学習へつなぐ。	<ul style="list-style-type: none"> 討論で話し合った内容を総合的な学習の時間でどのようにしたいか問いかけ、学習をつなぐ。 	

資料 コンピテンシー表

自分に身に付いてきた「コンピテンシー」(資質や能力)をふり返り、次の目標を設定しよう! 名前()

	活動内容		活動内容
①		⑨	
②		⑩	
③		⑪	
④		⑫	
⑤		⑬	
⑥		⑭	
⑦			
⑧			

コンピテンシー		活動番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	合計
スキル	課題を発見する力																
	情報を集める力																
	ICTを活用する力																
	情報を整理する力																
	情報を分析する力																
	特徴を見付ける力																
	比較して関係を考える力																
	表現する力																
	前向きに話し合う力																
	解決にむけて実行する力																
ふり返る力																	
意欲・態度	生活を見直し、実践しようとする心																
	伝統を受け継ごうとする心																
	人と協力する心																
	責任をもってする心																
	進んで学習しようとする心																
価値観	チャレンジしようとする心																
	尾道のよさに気付く心																
倫理観	伝統のよさに気付く心																
	自分へ自信をもつ心																
知識	美しさを感じる心																
	知っていることが増える																

付きたい力, なりたい姿

	成長してきていると思うこと	これからの課題だと思うこと, 次の目標